

県内有数のスポーツ施設へのアクセスが向上し、スポーツ交流拡大が期待(スポーツ振興支援)

- 福島市西部にはスポーツ交流施設が集積、各施設で大規模なイベントが開催される県内有数のスポーツ交流拠点
- 東京五輪の野球・ソフトボール競技の誘致を正式表明。サッカー出場チームの合宿誘致を検討。
⇒福島大笹生ICの開通のアクセス向上効果により誘致活動を支援

ふくしまスカイパーク

十六沼公園

十六沼公園

- ・・・スポーツ施設、遊具施設、自然公園からなる総合都市公園
- ・年間利用者数50万人以上(H26)
- ・**五輪サッカー宮城1次予選を想定し、福島での合宿誘致に向け調査検討予定**
- ・J3所属福島ユナイテッドFCの主なトレーニング場所
- ・スポーツ大会や自然イベントを開催

ふくしまスカイパーク

- ・・・民間試験空域を確保できる国内唯一の離発着場
- ・全日本曲芸飛行協議会などのスカイスポーツや地域イベントを開催
- ・研究開発やヘリ訓練の場としても利用
(航空機会社21社、民間企業8社、航空団体6団体、公共団体10団体以上)

あづま総合運動公園

- ・・・福島県内の主要なスポーツ施設が立地
- ◆あづま球場
 - ・30,000人収容。独立リーグ所属福島ホープスの主な試合開催球場
 - ・**東京五輪の野球、ソフトボールを誘致を正式表明**
- ◆あづま陸上競技場
 - ・20,000人収容。J3所属福島ユナイテッドFCのホームスタジアム
- ◆あづま総合体育館
 - ・6,000人収容。各種スポーツの県大会やコンサートなどで利用

あづま球場

あづま陸上競技場

あづま総合体育館

6